

森が元気に人が元気に

矢作川水系 森林 ボランティア 協議会

矢森協
やもりぎょう



豊かな森づくりを目指して

愛知県豊田市の中央を流れる一級河川・矢作川。その流域の森林環境を守ろうと多くの森林ボランティアが活動しています。その集まりが「矢作川水系森林ボランティア協議会」(2004年1月結成)、通称「矢森協^{やもりぎょう}」です。その活動は主に山での間伐作業ですが、森林の調査、間伐材の活用、地域との交流など様々な活動を繰り広げています。

矢森協各団体の主な活動拠点



森林の荒廃が招く災害

日本の山の半分近くは人工林です。しかし多くの人工林は間伐整備されず放置されたままで、混みすぎた森林は陽の光を遮り地表の植物も衰退し「不健康な森林」となります(図1)。



図1



図2

不健康な森林は、大雨が降ると土砂崩れや洪水など自然災害を増長させます(図2)。豊田市でも2000年の「東海豪雨」で甚大な被害が発生しました(図3)。豪雨が度重なる昨今、森林が抱えるこの問題は山村部だけでなく、都市部の市民も一体となって考えていかなければならない課題です。



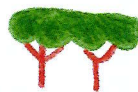
図3

森林ボランティアの様々な形

矢森協の構成団体メンバーは、リタイアし余暇に森林整備に携わるものもいれば、平日はサラリーマン、休日は木こりとして間伐に励む者など、関わり方は様々です。女性メンバーも年々増えています。

各団体は矢森協を通して情報交換や交流を図り、時にはお互いの活動をサポートし合い一丸となって豊かな森林づくりを目指しています。

よろしければ、「一緒に森林整備を行いませんか!」



平日はサラリーマン



休日は木こり



女性も活躍中!

そんな矢森協の活動の一部をご紹介します。

間伐作業

山主さんや地域住民からの要請を受け、依頼者と一体となった森林整備を「ボランティア」として行っています。その一環として森林の混み具合を調査し、必要に応じた間伐作業を決定し、理論と実践による森林整備を行います。また、間伐を行うことで地域の活性化や森に関わる人を増やし、より健全な森づくりを目指しています。



森の健康診断

地域内外の皆さんと共に森に入り、人工林の状況調査を行い、森への関心を高める活動を推進しています。さらに全国および子どもへの体験会も展開しています。



▲学生と一緒に樹高測定

地域との交流

間伐材の薪利用や木工を通じ地域との連携・交流を図っています。



▲旭木の駅プロジェクトでの材出し



▲間伐材でいすづくり@つくラッセル

内部研修・合宿

団体同士の交流や情報交換を目的とした研修・合宿を定期的に行っています。



▲内部研修会



▲研修会での集合写真



お問合せ

矢作川水系森林
ボランティア協議会

E-mail

yamorikyou@yahoo.co.jp

記入欄
氏名
連絡先

団体名